

市議会報

大野

No. 18

49. 8. 1
発行 大野市議会
TEL 6-1111
(内線 303)
印刷 松浦印刷所

6月定例会市議会

一般会計補正予算 3億9,222万円を追加

開成中学校第二期工事費など中心に

— 19議案を可決・承認 —

第145回 6月定例会市議会は、6月10日招集され、会期を17日までの8日間と定め、理事者から提出の議案19件を原案どおり可決・承認いたしました。また市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決め、最終日には議員提案による「昭和49年産米価等に関する意見書」外1件を採択・可決いたしました。また市政に対する一般質問が2日間にわたり行われました。

一般質問

養鶏団地建設

京福電車廃線問題

論議集中



黒谷河内林道完成 今後広域林道として美山町との交流が期待される

お も な 議 案

▼昭和49年度大野市一般会計補正予算

今回の補正額は3億9,222万円を追加し28億1,311万円といたしました。

補正の主なものは次のとおり。

〔歳出〕

庁舎ネット張工事30万円。母親クラブ活動補助60万円。予防接種事故弔慰金 510万円。林道開設事業費(鬼谷線)1,920万円(延長 460m)。県単林道改良(阿難祖原線) 133万円(橋梁15.7m)。林道維持修繕工事費 100万円。造林費 180万円。広域商業診断補助70万円。魚止駐車場及び取付道路整備費 300万円。道路改良工事費 3,573万円。道路舗装工事費 1,272万円。河川改良工事費 176万円。新庄・東中線舗装工事 1,200万円。北部会計繰出金 500万円。亀山公園整備追加分 375万円(総工事 1,200万円)。駅東公園整備 800万円。緑橋下水路工事 939万円。富田小学校プール建設費追加分120万円(総

工事 1,350万円)。開成中学校屋体屋根修繕費 270万円。開成中学校建設第二期工事費2億2,039万円。開成中学校備品購入費 1,000万円(特別教室、給食室備品)。臨時教諭賃金 117万円(小山・乾側両幼稚園2名分)。富田公民館調理室 150万円。朝倉義景公石碑修理48万円など。

〔歳入〕

地方交付税 3,194万円。分担金及び負担金 329万円。国庫支出金1億6,410万円。県支出金 2,016万円。寄付金 251万円。財政調整基金繰入金 9,000万円。前年度繰越金 6,009万円。市債 6,480万円など。

▼昭和49年度大野市北部土地地区画整理事業特別会計補正予算

今回の補正額は 1,500万円を追加し、総額2億 1,357万円といたしました。

補正の主なものは中挟・中野・大橋線にかかる国鉄踏切工事委託料で、その財源として国庫補助金 1,000万円、一般会

計からの繰入金 500万円である。

6月定例会審議日程

- 10日 本会議(会期の決定、議案上程、提案理由の説明)
- 11日 休 会
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(一般質問、各案件委員会付託)
- 14日 委員会(産業経済・建設常任委員会)
- 15日 委員会(教育民生・総務常任委員会)
- 16日 休 会
- 17日 本会議(追加議案上程、説明、各委員長報告、質疑、討論、採決)

▼大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例

被保険者が出産したとき、育児手当金として1,800円支給していたものを2,000円に改める。

▼大野市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例

し尿汲取料金を18ℓにつき現行の36円を44円に、また衛生処理場における処理手数料を18ℓにつき2円を1.5円にそれぞれ改めるもの。前回は昭和48年7月1日改正されたが、業者から人件費、および石油値上げ等に伴い経営が困難になったため、値上げの要請があり改正したものを。

▼財産の処分について

元打波小中学校の建物を部落の公民館として使用するため、下五条方区へ無償で払い下げするもの。また下打波地区にある市有地(雑種地297m²)を今回の林野整備近代化法により、生産森林組合を設立して共有林野の有効利用を図るため、下打波区へ無償で払い下げするものである。

▼土地の取得について

大野駅東第二土地区画整理地区の保留地を、今後市が建設を予定している仮称東小学校、大野地区消防組合庁舎、および市営駐車場の敷地として、総面積約25508m²を3億2,579万7,000円で購入するものである。

また廃線が予定されている京福電車の軌道敷地等総面積約27084m²を3,227万4,545円で購入し、今後旧国道157号線および市道の拡幅を行い、交通の緩和と沿線地区の発展を図るものである。



六月十二、十三日の二日間にわたり、議案に対する質疑ならびに一般質問が行われ、七名の方々が理事者に質問いたしその外にも多数の方々が関連質問を行いました。
その主なものは、養鶏団地建設問題、京福線の廃線問題、土地開発公社の業務運営の問題に関するものなどでした。
なお、これらの答弁には市長の外関係課長がこれに当たりました。

***** 養 鶏 団 地 建 設 *****

一時中止 地元との話し合いを、公害は企業責任、最終責任は？
県公害防止条例、市の環境保全条例との問題はどうか？

問 この建設問題はすでに昨年の12月に塚原地区に建設予定となっていたが、急きょ吉村地籍において着手されている。そのため隣接の菖蒲池地区から強い反対がでていますが、なぜ十分な行政指導を行わなかったのか。
答 ご指摘のとおり塚原地区に建設を予定していたが、養鶏家の技術的な問題が生じ、今回吉村地区において建設に着手した。しかし隣接の菖蒲池地区の了解まで取りつけないまま工事に着手し、今日の問題となったことは誠に遺憾に思っている。
問 なぜ公害防止協定を結ばないまま建設に着手したのか。公害発生の問題はな

いのか。
答 締結しないまま着手したことは、大変残念に思っている。しかし行政の立場として、公害が発生しないような施設を十分やらせることが第一の条件であり、また万一公害が発生した場合は、市が責任をもって処置することが大事である。
問 もし公害が発生した場合はだれが責任をもつのか。
答 公害防止条例の主旨にもあるとおり当然第一義的には企業者側が責任を取る。もし条例に違反しておれば、市は企業者に対して改善命令を出し、応じない場合は停止命令を出すわけである。それに対して損害が起きた場合は、第一に企業者側が責任を取るべきであり、市が責任を取るかどうかは問題の個々のケースによって違うと思う。
問 県の公害防止条例には、30日前に届出するようになっているが、その届出はなされていたのか。また国の事務指導要綱により措置をしたのか。
答 届出は6月7日である。行政上の市の不行届については誠に遺憾に思っている。3日間中止をして、十分地元と話し合いを行い解決に努力していきたい。



問題になった養鶏団地建設現場(吉村地区)

**60余年の歴史をもつ京福電車
当市の文化・産業に大きな役割
廃線の条件はどうか？**

軌道敷地 …… 市へ譲渡合意
人員輸送 …… バス運行に切替え
貨物輸送 …… 早晚解決見通し

問 京福電車は60年の歴史をもち、当市の文化・産業に大きな役割を果たしてきた。今日の社会情勢に対応できず廃線となるが、その協定調印はなされたのか。また協定の内容、廃線条件については合意しているのか伺いたい。

答 現在まだ協定に調印しておらない。この協定調印に際して3つの大きな問題点がある。①人員の輸送については、従来と変らない輸送力をバスによって確保していくこと。②貨物の輸送を国鉄に代替できるような処置をすること。③将来拡幅が予想される国道・市道に備えるため、廃線敷を市の方へ譲渡することの3つの条件である。現時点では第1、第3の条件はほぼ合意に達しているが、第2の貨物の輸送については市と京福の問題だけではなく、その間に国鉄ならびに日本通運が介入しており、現在京福にお

いて協議している段階である。早晚解決されるものと考えている。

問 旧国道 157号線中津川の三差路から京福三番までの拡幅はいつごろか。

答 廃線を決定した後なるべく早く拡幅する考え方である。協定とはななら関係ない。

問 三番の京福マートの場所については市へ移管されないのか。

答 京福側はバスターミナルに使用することのことで。



60年の歴史を閉じる京福電車

での地元負担金を取っているが、これを軽減する考えはないか。

答 路線の種類によって多少負担率が違うが、一体どれぐらいの負担が妥当であるか、農道・一般道路と比較して非常に難しい問題である。しかし私としては、あらゆる道路について負担を軽減することは賛成である。その反面、均衡を欠くという問題もあり、十分皆さんとも相談をして、道路の整備に努力していきたい。

第2次林業構造改善事業の見通し………

林道の地元負担軽減を強く要望

問 第2次林業構造改善事業の着工見通しはどうか。また林業構造改善事業の中心をなすものは林道の開設であり、当市の林業振興に果たす役割は大きく、観光面の利用等その重要性は言うまでもない。そのため長期的展望に立った林道計画が望まれるが。

答 第1次林業構造改善事業は昭和48年度で終了したが、その体験を十分生かし第2次については十分に備調査を行い、地元との意見調整を重ねて、昭和50年度に国の指定を受け51年度に着工したい考え方である。また事業の6割は林道開設であり、林道計画を立てるに当たっては、協議会等の意見も十分に拝聴し、市の林業振興発展のため努力していきたい。

問 林道新設の場合、現在は最高3割ま

**県道大野墨俣線の国道昇格実現
国に積極的な働きかけを要望**

問 今回、建設省で一般国道への昇格について路線の選定がなされようとしているが、福井県からも県道大野墨俣線を含めて5路線の申請が出されている。国道昇格への見通しはどうか。

答 国道昇格実現のため期成同盟会を結成し、4年間にわたり活発なる運動を進

めるとともに、昇格条件に合致するよう路線の整備にも力を入れてきた。私としては、福井県において入るとすれば一番有力であると確信している。しかし政治的な問題であるので、今後とも岐阜県と十分打ち合せをして、強力な運動を進め実現のため努力していきたい。

**し尿くみ取料金値上げ分
市で全額負担する考えは**

問 今回し尿くみ取料金の値上げの改正条例案が出されているが、この値上げ分を市で負担する考えはないか。

答 くみ取料金を据え置くことは非常に難しく、人件費のアップ、昨年来の物価高騰等により業者も経営が非常に困難な状況にあり、ある程度値上げを認めざるを得ないということで、他市の状況をよく調査した結果、改正をお願いしたい。

**圃場整備事業、大幹線農道
計画期間内完成はどうか？**

問 圃場整備事業ならびに大幹線農道については計画どおり進行しているのか。また計画された期間内に完成するのか。

答 県営圃場整備事業については、49年度の事業費を全部入れて進行率38%の状況であり、当初5カ年の計画であったが、7年以上かかると思っている。また大幹線農道についても48年度に着手し、本年度1億3,000万円の事業費の内示があったが、圃場整備事業と同じように、国の総需要抑制のあおりを受けて非常に苦しい状態になっている。今後とも国に強力に働きかけて進行に努力していきたい。



完成を目指す大野線農道（新在家）

**レクリエーション施設の拡充！
国民宿舎、勤労者憩いの家誘致**

問 観光レクリエーション施設の利用は今日所得水準の向上、週休2日制等の余暇時間の増大に伴い、内容的にも自然を求める傾向が強く、当市はその環境に恵れている。今後市長はどのような対策のもとに施設の整備、拡充を図っていく考えか。

答 施設整備については、今日まで道路、駐車場、便所等の基礎的な問題に力を入れてきた。ご指摘のように、今後は余暇時間の増大に伴い施設の拡充が必要であると痛感する。そのため宝慶寺に予定している「国民宿舎」の誘致、また労働者が構想を打ち出している「勤労者憩いの家」の誘致にも、50年度を目標に努力をしていきたい。

**畜産の悪臭防止に対して
市の強力な援助が望まれる**

問 畜産の悪臭防止に対する市の技術的な指導と金銭的な援助が強く望まれるが市の考え方はどうか。

答 今日悪臭の問題だけではなく、騒音の問題、あるいは水質汚濁の問題等多くの困難な問題を抱えている。市としては、公害を未然に防止していくための施設の充実については、原則的に融資制度によるという考え方である。しきしながら、近代化あるいは協同化の中を含めて施設を充実する場合は、従来とも援助の方法を取っている。

**土地開発公社の機能十分果たせず
1年間の業務成績ゼロ！**

問 土地開発公社を設立以来1年経過した今日、今議会に経過報告がなされたが、その業績は誠に積極性に欠けており、果たして期待されたとおりの業務運営が今後望めるのかどうか。

答 ご指摘のとおり表面には表われていないが、宝慶寺の用地交渉、塚原の団地取得、あるいは都市計画道路の用地の取得、契約までには至らなかったがこの一

年間随分と努力してきたつもりである。開発公社は市と表裏一体の関係にあり、民間業者とは違い妥当な値段で用地を取得しなければならない。今後開発公社の機能を十分生かし努力をしていきたい。

**学校給食の運営費について
父兄負担の軽減を要望**

問 学校給食の運営費は、現在父兄の負担になっている。昨年来の石油パニックにより運営費がかさばり非常に困窮しているが、この費用を市で全額負担する考えはないか。ちなみに福井市、武生市、鯖江市は全部市で負担、勝山市では半分の市で負担している。

答 教育費の父兄負担の軽減については、今日非常に大きな課題となっており鋭意努力してきたつもりである。負担区分は明確にしてやっていくべきである。給食の運営費については、基本的になくしていきたいという考え方をもっており、段階的に解消していく方向で努力していきたい。



給食の準備におられる調理師

**市有財産の未登記
整理計画を立て一日も早く！**

問 道路改良等その他市有財産取得に伴う登記事務が非常に遅れているが、今後の登記整理計画を伺いたい。

答 現在道路の改良、舗装に積極的に取り組んでいるため、未登記が多くなっていることはご指摘のとおりである。人件費等の節約の問題もあって人員的にも非常に難しく、また旧町村時代のものが多く残っており、その当時の実情が十分はあくできないため困難を弱めている。整

理の必要性は十分考えており、今後登記事務の経験者を雇い入れて整理に当たっていききたい。

**西谷地区の温泉利用
果たして活用できるか？**

問 西谷地区に温泉が出たということが言われているが、市はこの開発についてどのように考え、また真名川ダムの完成により、周辺一帯の観光開発とどのように並行させていくのか。

答 温泉は現在の水質および水温では、療養温泉として該当しない難点がある。果たして認められるかどうか今後十分調査し、慎重に扱っていく必要がある。なお真名川ダム周辺の観光開発と並行していく場合、上流は当市の地下水の源であり、公害との問題とも十分考え合せて進めていきたい。



現場調査の産経委員

永年勤続の議員

**北信越市議会議長会
全国市議会議長会 } で表彰**

去る4月18日福井市で開催された第49回北信越市議会議長会定期総会ならびに5月30日東京で開催された第50回全国市議会議長会定期総会の席上、それぞれの表彰規程に基づく永年勤続議員などの表彰が行われ、本市から次の方が栄えある表彰を受けた。

表彰 地方自治功労者
(在職15年以上) 林 達 也
(在職10年以上) 帰 山 静

**市の行政に関心の目を
議会の声に耳を傾けよう**

次の定例会は9月です。
皆さん傍聴しましょう。

7月臨時市議会

開成中学校第二期工事 請負契約可決 3億2,050万円

一般会計補正予算1,741万円を追加

— 4議案を可決・承認 —

第146回 7月臨時市議会は、7月19日招集され会期を1日限りと定め、理事者から提出の議案4件を可決・承認いたしました。
質疑、議案の主な内容は次のとおりです。

菖蒲池簡易水道建設で
養鶏団地建設
ようやく解決



普通教室を中心に完成した開成中学校第一期工事

問 菖蒲池の簡易水道建設については地元負担金を取っていないがなぜか。

問 養鶏団地建設の問題解決のため、また多年菖蒲池地区は水不足に悩まされているので水道を建設したい。

問 養鶏団地の問題に関連して簡易水道を建設するのであれば、養鶏家または上庄の構造改善事業から負担金を取るのが至当と思う。なぜ市が負担金を出さなければならないのか。

答 養鶏団地建設については、菖蒲池地区からの強い反対があり、この状態では今後の市の畜産奨励、農業構造改善事業に大きな支障を来すため、簡易水道を建設するというでこの問題を解決していきたい。

問 今後、市は水道事業建設に際しては地元負担を取らないのか。

答 従来どおり負担金を取っていく考えである。

問 市は今後こういった問題が生じた場合、どのように対処していくのか。

答 今後こういった問題を起さないように努力していきたい。また政治は愛情と誠意の問題だと思っているので、今後この政治姿勢をモットーとして進めていきたい。

▼昭和49年度大野市一般会計補正予算
今回の補正額は1,741万円を追加し、総

額28億30,052万円といたしました。

補正の主なものは次のとおり。

菖蒲池簡易水道建設に伴う繰入金 852万円。
湯の谷川に架かる橋の改良費 768万円。
西里団地住宅災害復旧工事費 340万円など。

これに要する財源として、

湯の谷線改良に伴う地元負担金 153万円。
湯の谷線県補助金 384万円。
財政調整基金繰入金 1,118万円。
市営住宅火災保険金85万円など。

▼昭和49年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算

今回の補正額は 3,271万円を追加し、総額 3,807万円といたしました。

補正の主なものは、菖蒲池水道事業費 2,460万円。荒島水道事業費 811万円。

それに要する財源として一般会計からの繰入金 874万円。荒島水道への補償金 674万円。菖蒲池水道新設県補助金 247万円。荒島水道改良県補助金 115万円。菖蒲池水道事業費 1,360万円など。

▼工事請負契約について

大野市立開成中学校の校舎新築第二期工事の本体工事を、2億8,950万円で横田組と契約を締結するものである。建物の延面積は約 3,400m²で特別教室、職員室、校長室等。また電気工事は 3,100万円で、松田電気工業社と契約を締結する。なお完成は昭和50年5月30日の予定。

した外は可決・採択しました。

陳情13号京福線の廃線に伴う物資輸送対策については、理事者より実情を聞き内容を検討した結果継続審査とした。

なおこれに関連して、京福線大野～勝山間が廃線となれば、60年間なじんできた市民への有形、無形の影響は計り知れないものがある。例えば、北陸随一を誇る六呂師スキー場へのスキーヤー輸送の大動脈としての使命を果たしていた本路線は、その廃止によって民宿の受ける打撃は大きいものがあると思われる。理事

委員会の活動

●産業経済委員会

— 養鶏団地造成中止・京福線の廃線問題の陳情は継続審査 —

付託された議案2件、請願1件、陳情2件については、陳情2件を継続審査と

者はキメ細かくその対策を講ぜられるよう強く要望した。

●建設委員会

—道路の維持補修費

予算補正を強く要望—

付託された議案4件、請願3件と継続審査の請願4件、陳情1件については、請願1件を継続審査とした外は可決・採択しました。

審議の過程で問題となった点は、道路の維持補修費である。市の道路延長は極めて長く、加えて未改良、未舗装が多くて道路状況は極めて悪く、さらに豪雪地帯であるため、冬期間における道路除雪等による道路の損傷が激しく、早急に補修を要する危険箇所が多く見受けられる。今後の補正において、ぜひ補修費の予算を増額するよう強く要望した。

●教育民生委員会

—し尿汲取料金値上げは

細心の注意を—

くみ取業者の合併指導促進を図れ

付託された議案4件、請願1件、陳情3件については、それぞれ可決・採択しました。

審議の過程で問題となった点は、し尿

くみ取料金の改正である。今回約22.2%のアップで提案がなされているが、公共料金の値上げは市民の生活に多大の影響を与えるものであり、今後値上げに当っては細心の注意を払って行われるよう強く要請した。またこれに関連して、くみ取業者の合併指導を促進すべきであるという意見も出された。

●総務委員会

—仮称東小学校等の敷地購入議

案など11議案を可決・承認—

付託された議案11件、請願1件、陳情1件については、それぞれ可決・承認・採択しました。

請願13号春日三丁目外3区から提出された防火用水路の改修については、理事者において適切な措置を取られるよう要請した。

昭和49年産米価等に関する意見書

生産者米価は、稲作農家と他産業従事者との所得均衡を維持するうえで極めて重大な意義をもっております。しかるに政府の買入れ価格は、昨年においてわずかの値上げがあったとはいえ、昨年後半からの物価、労賃の大幅な上昇からすれば、実質的には生産者米価が引き下げを強いられていることは誠に遺憾であります。加えて過酷な米の生産調整の実施、買入れ制限など一連の政策は、本県のような米単作地帯の農家経済に極めて大きな犠牲を与えております。よって政府におかれては、昭和49年産の米価及び48年産米価格の追加払等の決定に当たっては、物価、労賃の極めて異常な上昇と今日の米穀事情等が正しく反映されて決定されるよう、下記事項の実現について強く要望します。

記

1. 49年産の基本米価は、生産費及び所得補償方式に基づき60kg当り16,704円とすること。
2. 48年産米について60kg当り3,000円以上の追加支払いと助成を行うこと。
3. 国民食糧確保のため基本農政の確立を図ること。
4. 消費者米価については据置きとすること。

以上、地方自治法第99条第2項の規定に基づき意見書を提出する。

昭和49年6月17日 福井県大野市議会

請 願 ・ 陳 情

3月定例会で継続審査となった請願4件・陳情1件、6月定例市議会で新しく提出された請願・陳情12件は、各委員会審査され、委員長から本会議に報告して、次のように決定しました。

採択したもの

●防火用水路の改修について

春日三丁目区長 山崎次郎外3区長

●市立小山幼稚園の教員増員と園舎充実について

市立小山幼稚園保護者

林原繁雄外15名

●私道の市道移管と舗装について

春日三丁目 加藤則彦外46名

●下唯野南専寺大門道舗装について

下唯野区長 細川勉外3名

●家畜ふん尿処理機の導入に対する助成援助について

畜産連絡協議会会長 牧野 正

●市道の舗装について

深井 藪田巴克

●中荒井第1号踏切の改良について

中荒井町1丁目 室谷 保外51名

●市道への編入について

吉区長 常秋範夫外25名

●南六呂師自然公園内の開拓農道の市道認定について

南六呂師区長 山腰与視外1名

●大野保育園廃園後の利用について

錦町1区区長 下川 稔

●白山神社屋根ふき替えに対する助成について

下黒谷区長 吉田健之助

●入札指名について

福井県建築工業会会長 村中久蔵

●給食運営費の市援助について

大野都市PTA連合会会長 黒原孝雄

●道路拡幅(舗装)工事について

尾永見区長 酒井西左衛門外4名

継続審査となったもの

●京福線廃線に伴う物資輸送対策

大野地区労働組合協議会会長 小西正英

●養鶏団地造成中止について

菖蒲池区長 松本正治外19名

●市道への編入について

新塚原区長 松本真治外12名